

# 早稲田大学 vs 東洋大学

5月6日(月・休)  
13:50K.O.  
三ツ沢

開幕戦こそ順大に0-1で敗れた早大だったが、その後はしっかりとチームを立て直して3勝1分。前節の流経大戦も3-0。内容、スコアともに堂々とした完勝だった。

「自分たちらしく戦えた、いいゲームだった。前線の選手が積極的にアクションを起こしてくれた。相手に的をしぼらせなかった」

と、古賀聡監督も満足な様子。それでも首位の専大が勝ち続けている以上、しっかり気持ちを引き締めて今後も臨まなければいけない。

「フィニッシュまでいたった回数が普段よりも多かったが、もっとフィニッシュまでつなげられるように攻撃の精度を高めていきたい」(古賀監督)

開幕戦で明大に勝利を取めたが、その後はなかなか勝ちきれない試合が続いている東洋大。4節の筑波大戦では5-5と大味なゲームを展開してしまっただけに、前節の中大戦ではまずは守備から入った。

「安定した守備がバランスよくできていたのは収穫」(古川毅監督)

しかし、全体的に中大にボールを保持される時間が長すぎたのは気がかり。

「守備に回る時間が長くなってしまった」(古川監督)  
守備に意識が回るあまり、積極性にやや欠けてしまったといえる。後半は数こそ多くなかったものの、いくつかチャンスを作ったが、そこで決めきれないと勝点3を取っていくのは今後も厳しい。

「連敗しているが自信を失わず、勝点1を確実に取っていく。その延長戦上で勝点3を狙っていきたい」(古川監督)

**出場停止：藤井悠太(東洋大)**  
**昨年はリーグ戦での対戦はなし**

早大		東洋大	
6. 三竿	8. 近藤洋	11. 黒須	7. 馬渡
13. 金澤	19. 上形		12. 内田
	18. 小松		8. 年森
1. 松澤		13. 川森	10. 桑田
	5. 池西		33. 篠田
2. 奥山	9. 榎本		4. 郡司
12. 八角	7. 近藤貴	9. 三田	16. 筑井

# 専修大学 vs 流通経済大学

5月6日(月・休)  
13:50K.O.  
たつこ

前節で国士大を2-1で下し5連勝と、快調に首位を走っている専大。どこまで伸ばし続けるのかが見どころだが、まずは今節が大きな正念場となりそうだ。

というのも、国士大戦で後半36分にセンターバックの本名正太郎(4年)が2枚目の警告を受けて退場となり、今節は欠場。どのチームもコンディション面がポイントになるうえに、専大にとっては守備のところで不安を抱えてるだけに、ここまで出場し続けていた本名の欠場はかなり痛い。準備期間も短いだけに、代役をどうするかが第一のポイントになりそうだ。

一方の攻撃面だが、前半はボールを保持しながら完全に自分たちのペースで試合を進めたものの、決定力不足でなかなかゴールを奪えなかった。

「凡ミスが多くて、決めるところで決めないと苦しい試合になってしまう。決定機を作っている以上、そこで決めないといけない」(源平貴久監督)

それでも前半、後半と1点ずつ奪って試合を決めた点はさすがのひと言だが、PKとはいえまたも1失点してしまったのは反省点だ。

「完敗です」  
前節の早大戦で0-3の敗戦を喫した、流経大・中野

雄二監督の弁だ。  
「決定的なミスが多すぎた」(中野監督)  
と顔をしかめたほど。精神的なダメージも受けたが、中1日でのゲームだけに時間は無い。

「コンディションの問題もあり、今日の結果に関係なく、もともとメンバーを半分ぐらい入れ替えようとトレーニングしてきた」(中野監督)

フレッシュな選手の活躍に期待したい。  
**出場停止：本名正太郎(専大)**  
**昨年の対戦：前期/専大3-0流経大、後期/専大3-2流経大**

専大		流経大	
34. 小口	11. 前澤		2. 田向
33. 飯田		23. 森保	
	7. 長澤		5. 川崎
			7. 中山
1. 福島	6. 河津	22. 山川	12. 久保
	8. 下田		9. 石井
			1. 原田
3. 萩間			10. 黒田
			3. 鈴木
		4. 中美	
2. 北爪	10. 仲川		16. 湯澤

※布陣は前節のメンバーを参考にした予想

## JR東日本カップ 2013 第87回 関東大学サッカーリーグ戦



# OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM

VOL.25-NO.6 Division1



編集：加茂郁実 印刷：関東大学サッカー連盟 協力：関東大学サッカーサポーターズクラブ

## 日体大の連勝は順大がストップ、専大は5連勝!

ゴールデンウィーク中の連戦に突入した『JR東日本カップ2013 第87回関東大学サッカーリーグ戦』。ほとんどのチームが中1日でのゲームとなる(専大、日体大のみ中2日)だけに、ここをいかに乗りきることが大きなポイントとなる。まず、前節を振り返ってみよう。開幕から連勝を続ける専大は、今シーズン1勝と調子が上がらない国士大と対戦。両者の勢いそのままの試合となり、前半に先制点を奪った専大が後半にも追加点をゲット。最後に1失点した反省点は残るものの、2-1で国士大を下して無傷の5連勝を飾った。

同じ開幕から4連勝を続けてきた日体大は、4節で首位の専大を苦しめた順大と対戦。相手の徹底したサッカーに苦戦を強いられたが、後半16分に待望のゴールを奪った。このまま試合を進めるかと思われたが、アディショナルタイム5分に順大が意地の一発を見せて1-1のドロー。日体大の連勝は4でストップした。逆に、順大の今年の粘り強さは本物といえるだろう。

なかなか本領を発揮できない明大と、最下位・慶大の一戦はシーズンゲーム。前半5分に明大が先制点を奪うと、12分に慶大が同点弾。後半1分に明大が勝ち越しゴールを奪ったが、20分に再び慶大が追いつき、そのままタイムアップとなった。明大にとっては痛い勝点

**得点ランキング**

仲川 輝人(専大)	5点
長澤 和輝(専大)	4点
長谷川竜也(順大)	4点
前澤 甲気(専大)	4点

**アシストランキング**

仲川 輝人(専大)	3アシスト
稲葉 圭吾(専大)	2アシスト
梅村 徹(日体大)	2アシスト
宮内 啓汰(日体大)	2アシスト
北爪 健吾(専大)	2アシスト
長澤 和輝(専大)	2アシスト
上村 岬(筑波大)	2アシスト

1。慶大も本音は勝ちたかったところだろうが、まず今シーズン初勝点を挙げた。

翌日の4日に行われた3ゲームだが、まず3連勝中の早大は流経大を相手に3-0の完勝で、4連勝を達成した。同じく優勝を狙う中大は、東洋大に1-1の痛い引き分け。ここ3試合、勝ちきれない試合が続いている。また、なかなか波に乗りきれない筑波大だが、この日は桐蔭大を1-0で下して3勝目をゲット。ここから波に乗っていきたいところだ。

## JR東日本カップ 2013 [第87回] 関東大学サッカーリーグ戦 星取表

順位	チーム名	専大	日体大	早大	中大	明大	順大	筑波大	東洋大	流経大	国士大	桐蔭大	慶大	勝数	敗数	引き分け	得失点差	得失点率	勝点	
1	専大		5月26日	後半戦	5月18日	後半戦	201	5月12日	301	5月6日	201	602	601	5	0	0	19	6	13	15
2	日体大	BMWス		5月18日	100	後半戦	111	後半戦	301	200	100	5月6日	5月11日	4	1	0	8	2	6	13
3	早大	後半戦	たつこ		後半戦	5月12日	001	100	5月6日	300	5月25日	111	201	3	1	1	7	3	4	10
4	中大	味フィ西	001	後半戦		5月26日	200	5月6日	111	5月11日	後半戦	111	100	2	2	1	5	3	2	8
5	明大	後半戦	後半戦	味フィ西	味フィ西		5月5日	5月19日	001	010	201	302	212	2	2	1	7	6	1	8
6	順大	102	111	100	002	フクリ		5月25日	5月11日	5月18日	500	後半戦	後半戦	2	1	2	8	5	3	7
7	筑波大	味フィ西	後半戦	001	味フィ西	川口	味フィ西		515	111	102	100	後半戦	1	2	2	8	9	-1	5
8	東洋大	103	103	三ツ沢	111	100	古河	515		後半戦	5月19日	後半戦	5月26日	1	2	2	9	12	-3	5
9	流経大	たつこ	002	003	たつこ	010	味フィ西	111	後半戦		後半戦	5月26日	301	1	2	2	4	7	-3	5
10	国士大	102	001	味フィ西	後半戦	102	005	201	川口	後半戦		5月11日	5月5日	1	0	4	4	11	-7	3
11	桐蔭大	206	味フィ西	111	111	203	後半戦	001	後半戦	BMWス	味スタ西		5月18日	0	2	3	6	12	-6	2
12	慶大	106	古河	102	001	212	後半戦	後半戦	味フィ西	103	荻野	たつこ		0	1	4	5	14	-9	1

体育会学生のための

**リクナビ就職エージェント**

**成功も失敗も、自分が決める。**

部活と就活にエールを送る! 体育会学生のための「リクナビ就職エージェント」

<http://job.rikunabi.com/agent/athlete/info02/>

RECRUIT

# 明治大学 vs 順天堂大学

5月5日(日・祝)  
13:50K.O.  
フケアリ

明大が苦しんでいる。前節はここまで4連敗と、苦しい戦いが続いている慶大と対戦。スッキリ勝って連勝し、弾みをつけたかったところだが、立ち上がりからチャンスを作って前半5分には先制点を奪ったものの、その後、同点に追いつかれる難しい展開となってしまった。後半開始直後にも素晴らしい立ち上がりを見せて2点目を奪ったが、再び失点して2-2のドロー。なかなか攻守がかみ合わない。

2ゴールを挙げたように攻撃面は決して悪くないし、それ以外の場面でもチャンスはいくつもあった。ただ、それを決めきれずにいるのが、大きな問題としてのしかかっている。神川明彦監督も今年のチームには開幕前から自信を持っていたように、もともとは実力がありながらリーグ開幕戦からつまづいてしまったことで、自信を失い思いきりが足りないところがあるといえる。「日体大にはもっと鍛えないと勝てない。ただ、2失点目をしなかったのがよかった」

とは、順大・吉村雅文監督の弁。前節の日体大戦は1-1のドローに終わったが、先制点を奪われながらもアディショナルタイム5分にPKを得て、土壇場で同点に追いつく驚異の粘りを見せた。

後半は相手にチャンスを作られ、いつ2失点目を喫してもおかしくないような状況だったが、そこで耐えに耐えたのが大きかったといえる。半面、「ファウルが多かった」(吉村監督)というように、必死に守ろうとする冷静さを欠いたプレーが多かったのも事実。結果、PKから先制点を献上してしまったのは反省材料だ。

「もっときっちりゲームをすることが大事だと感じた」(吉村監督)  
さらに、自分たちのサッカーを追求する。

昨年の対戦：前期/明大1-2順大、後期/明大3-0順大

明大		順大	
2. 八塚	8. 和泉	7. 和田	16. 吉永
32. 小出	9. 西澤		13. 宮本
	10. 矢田	10. 井村	6. 岡崎
1. 三浦		14. 長谷川竜	21. 大畑
	17. 差波	28. 野田	
3. 山越	11. 野間		3. 清水
5. 小川	35. 道渕	9. 岡庭	2. 友澤

# 日本体育大学 vs 桐蔭横浜大学

5月6日(月・休)  
11:30K.O.  
味フィ西

開幕から4連勝と好調をキープしてきた日体大だが、前節の順大戦は後半16分に先制点を奪いながら、アディショナルタイム5分に痛恨のPKから失点し、痛すぎる1-1のドロー。土壇場で勝点2を失ってしまっただけに、中2日でのこのゲームはまず心理的な影響が心配される。

「最後の失点は仕方のないものだったが、アディショナルタイムの時間帯でどれだけしのぐことができるかが、昨年からの引き続きの課題になる」(倉又寿雄監督)

前半は相手のプレッシャーの中、なかなかパスを回すことができなかったが、後半はしっかりと修正してボールを保持。何度かビッグチャンスも作った。

「北脇(健慈・4年)がサイドを行き来して、それがPK獲得につながった。狙いどおりの展開ができた」(倉又監督)

連勝はストップしたが、試合の随所に日体大らしいプレーは出ているだけに、消極的にならずに今後も続けていきたい。

2引き分けはあるものの、なかなか初勝利を挙げられない桐蔭大。前節も筑波大に0-1の敗戦を喫した。「立ち上がり15分は筑波大に圧倒されてしまった」(八

城修監督)  
というように、キックオフからバタバタしてしまい前半11分に失点。そこから立て直し、後半は交代選手が活躍してゲームを活性化させたが、最後までゴールを奪えなかった。

「後半、ゴールに近づけたことはよかった」(古川監督)  
とはいうものの、これを何とか得点に結びつけたいところだ。日体大戦で1部初勝利を手にする事ができるかどうか。

昨年はリーグ戦での対戦はなし

日体大		桐蔭大	
2. 宮内	15. 阿部	8. 山崎	3. 香西
5. 中西	11. 北脇		6. 福島
	10. 稲垣		9. 大泉
1. 伊藤		10. 坪井	5. 金子 1. 島崎
	6. 石井		7. 平山
4. 菊地	9. 田中		4. 古澤
35. 川田	7. 梅村	11. 山根	20. 長谷

# 国士舘大学 vs 慶應義塾大学

5月5日(日・祝)  
13:50K.O.  
萩野

専大に1-2の敗戦を喫した国士大。開幕戦で1勝を挙げたものの、その後は4連敗となかなかいいゲームができていない。

「前半はいいところなしの試合だった」  
と細田三二監督も肩を落としたように、ほとんどボールを保持されて何もさせてもらえなかった。それでもハーフタイムを経て後半にはアグレッシブさを取り戻し、自分たちらしいプレーを披露。

「後半は攻め込むことができてよかった」(細田監督)  
というように、後半だけ見れば専大に1-1のスコアだけに、地力は十分なものをもっている。ただ、それを90分通してでないことが今シーズンの大きな課題だけに、最初から最後まで集中して試合に臨まなければいけないだろう。

開幕から4連敗と、なかなか結果が出なかった慶大。しかし、前節では同じく調子が上がりきらない明大相手とはいえ、二度リードを奪われながら同点に追いつき、2-2の引き分けに持ち込んだ。初勝点ゲットをきっかけにして今度は勝点3をもぎとり、少しでも上との差を詰めていきたい。

しかし、試合内容に関していえば、まだまだ課題が多

いのも事実。スコアは2-2の引き分けだったが、チャンスは確実に相手のほうが多かっただけに、まずは2失点のディフェンス面で修正が必要だろう。

一方、チャンスを実にモノにした点は自信にしたい。今シーズンはずっと1点止まりだっただけに、初めて2点を取ったのも今後につながっていくはずだ。さらにチームとして戦っていけるようにすれば、勝利はグッと近くなる。

出場停止：宮地元貴(慶大)

昨年の対戦：前期/国士大2-0慶大、後期/国士大2-4慶大

国士大		慶大	
12. 加藤	14. 進藤	7. 磨見	28. 飯高
22. 今瀬	25. 木下		4. 保田
	3. 吉田		23. 山内
21. 久保田		20. 端山 36. 淡野	12. 福本
	19. 海野		5. 増田
13. 仲島	11. 児玉		8. 松下
29. 山田	27. 高見	10. 武藤	33. 溝渕

# 中央大学 vs 筑波大学

5月6日(月・休)  
13:50K.O.  
味フィ西

2試合連続で内容では相手を圧倒しながらも、ゴールを決めきれずに勝ちきれない中大。前節の東洋大戦も1-1のドローに終わった。

「点を取らないと意味がない。点を取っていきたい」(白須真介監督)

それでも、先制点を奪われながら追いつく底力は持っているだけに、これを何とか勝利に結び付けたい。

「3試合で勝点2しか取れていないのは問題。アタッキングゾーンに入ってからのシュートを決めきる力がないので、確実にゴールを決めきるチームを作らないといけない」(白須監督)

チャンス自体を増やすことも大事。短い期間でしっかりと修正することができる。

「この筑波大戦で今シーズン、上に行けるかが決まる。勝たなければいけない試合」(白須監督)

開幕から4試合で2分2敗と、決して内容が悪くない試合でも結果が出なかった筑波大だが、前節の桐蔭大戦は1-0で勝利。ようやく今シーズン初勝利を挙げた。「守備も粘り強く戦うことができた」(中山雅雄監督)

というように、4節の東洋大戦で5失点を喫した守備面をしっかりと修正。後半、相手に押し込まれる場面も

あったが、前半11分に奪ったゴールを最後まで守りきり、精神的な部分でも成長を遂げたといえるだろう。

ただ、攻撃面ではさらなるステップアップが必要だ。「勝ったことで、次はもっと自信を持ってプレーできると思う。もっとボールを動かし、いろいろとアイデアを出して筑波大の攻撃面の良さをもっと出しきりたい」(中山監督)

ここでいい流れをつかむことができれば、上位陣にとって怖い存在になる。

昨年の対戦：前期/中大2-6筑波大、後期/中大1-3筑波大

中大		筑波大	
6. 高瀬	7. 砂川	11. 中野	6. 片岡
27. 小出	17. 右高		2. 田代
	8. 田辺		8. 上村
1. シュミット		9. 赤崎	10. 玉城 1. 神倉
	4. 細見		7. 葺本
3. 大和田	11. 川越		3. 谷口
2. 古賀	25. 渋谷	13. 曾山	12. 三丸

※布陣は前節のメンバーを参考にした予想